

講義年月日 2005年9月8日(木)
講師 加藤好郎(慶應義塾大学 国際センター事務長)
テーマ 「図書館業務の基本原則とは」

The Principles of Librarianship(図書館業務の18の基本原則)

- 1 図書館は利用者のものである
- 2 情報提供システムが、その利用者の要求に応えられなくても、原則としてそれは明らかにならない。
- 3 供給は、需要を作る。
- 4 利用者が必要とするガイドを作らなければならない。
- 5 利用者が必要とする記録類を用意しなければならない。
- 6 図書館は、そのサービスの代償を受けるべきである。
- 7 図書館は、費用対効果について感心を払わなければならない。
- 8 情報は、原則として貨幣学で価値付けできないものである。
- 9 図書館は、見返りの減少の法則に関心を払わなければならない。
- 10 最善は、善の敵である。(完全を求めて時機を失ってはならない)
- 11 特定の活動に要する原価は、活動の規模が大きくなるにつれて、低減すべきである。
- 12 どんな図書館も孤島ではない。
- 13 図書館の発展計画には、利用者の要求の客観的なデータを用いるべきである。
- 14 新技術、システムには過去を振り返るのではなく、将来を見つめるべきである。
- 15 図書館員は、チームの一員として働くべきである。
- 16 図書館員という職は学者のための閑職ではない。図書館員の仕事は、しばしば多くの学者の研究を促進し、助けるものである。
- 17 図書館は、社会にとって価値あるものである。
- 18 図書館は、経験科学である。

By Donald J. Urquhart

図書館業務の16の基本原則

- 1 図書館サービスは、ユーザー優先である
- 2 図書館は、サービスの先取をせよ
- 3 ユーザーが必要とするサービスおよび情報を提供せよ
- 4 ユーザーが必要とする各種資料を用意せよ
- 5 サービスの提供には必要があれば課金せよ
- 6 サービスの提供にはコストパフォーマンスを意識せよ
- 7 情報の価値は、その額で判断するな
- 8 事業計画の進捗状況は、常に点検せよ
- 9 改革には、そのタイミングも重要である
- 10 サービスの拡充は、競争中の協力から生まれる
- 11 サービスの向上には継続的なマーケティングが不可欠である
- 12 新しいサービス展開には、常にサービスのライフサイクルを意識すべきである
- 13 図書館員は、ユーザーと図書館のために働き、図書館は、ユーザーと業者と図書館員を育てる
- 14 図書館サービスは、多くの研究者を支援し、図書館員をも育成する
- 15 図書館サービスは、民主主義の基本である
- 16 図書館学は、実学であり世の中を良くするために存在している

By 加藤好郎

専門職の業務とは(9つの機能、それぞれの業務について)

- 1 The Librarian・・・構想力を持って財務戦略を立てられる。組織としての生産性(サービスの向上)に興味を持つ。費用に対する効果と便益を把握し冷静に判断できる人。Worm heart, cool head。教える義務はないが育てる義務がある。リスクマネジメント構築の必要性。
- 2 Bibliographer・・・選書基準・書評の作成、貴重書担当(西洋・東洋書誌学)、出版、補修・保存。
- 3 Archivist・・・一次史料の維持管理(収集・目録・提供・保管等)。
- 4 System Librarian・・・利用者用、業務用パソコン管理、図書館システム開発およびDB構築。

- 5 Electronic Librarian・・・電子媒体資料の購入の知識と技能。選書、レファレンス機能も必要。
- 6 Digital Librarian・・・デジタル化における知識と技能と感性。書誌学的な知識、図書以外の学術情報の一次史料を除いた収集。
- 7 Cataloger・・・書誌ユーティリティーと図書館各種システムの開発・管理・研究等
- 8 Reference Librarian・・・利用者教育・デジタルレファレンス、フェイス トウ フェイス、マーケティング
- 9 Serials Librarian・・・雑誌・電子ジャーナルの情報収集、グローバル・リソース・シェアリング

専門職としての5主題

図書館専門職としての主題は自然科学、医学・薬学、法律、ビジネス、人文科学の5つ。

専門職の育成と自己努力

< 育成のための研修計画 >

- 1 欧米のライブラリアンシップを学ぶ
 - ・交換協定 UCSD、Toronto、短期研修 Illinois 等の活用
- 2 プロジェクト型の研修の実施
 - ・和漢書目録作成 (Bibliographer: 東洋書誌学)
 - ・ドイツ語雑誌の書誌検索と解題作成 (Bibliographer: 社会学)
 - ・経済学者データベース構築 (Digital: 経済学)
 - ・普通選挙ポスターデータベース構築 (Digital: 政治学)
 - ・石炭関連史料データベース構築 (Archivist: 経営学)
 - ・インキュナビュラのデジタル化 (Bibliographer, Digital: 西洋書誌学)

< 専門職への自己努力 >

- 1 コミュニケーションの確立
 - ・学生
 - ・文献検索 (BI) 資料の作成等
 - ・教育 (研究者)
 - ・共同プロジェクトへの参加等
- 2 意識改革
 - ・大学院への進学
 - ・学説史リストの作成 DDT の実施
 - ・現場業務の解決策を中心にした論文、レポートの作成
 - ・チャレンジシートの作成と実施

最後に

- 1 仕事への取り組み方
 - ・休暇は有給、仕事は無給 (夢求)
 - ・理想 (夢) に支えられた現実
 - ・経験・思い・理論・直感 (体験が生む先見力)
- 2 自己・組織改革の基本
 - ・パーキンソンの法則・3・4・3の法則
 - ・反対するなら代替案
- 3 管理職としての取り組み
 - ・教える責任はないが、育てる責任がある
 - ・判断は首から上、決断は全身全霊
 - ・あなりたい人、ならせたい人、やらせたいと思われる人に